

# 建設業における「安全の見える化」運動

～本当に「安全」が見えていますか？～

神奈川県労働局・川崎北労働基準監督署

日ごろから労働基準行政における労働災害防止対策の推進に、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、神奈川県労働局管内においては第12次労働災害防止推進計画（平成25年度～29年度）に基づき、神奈川県内の労働災害（死亡・休業4日以上）を平成29年までに15%減少（平成24年比）させることを目標として、各種施策を展開しており、川崎北労働基準監督署管内においても労働災害撲滅のため、事業場の皆様に各種施策の推進に御協力いただいているところであります。

川崎北署管内における第12次労働災害防止推進計画期間中に発生した休業4日以上の労働災害をみると、全産業では減少しているものの、建設業では1年目から2年目は増加、昨年は減少ではありますが目標値を超えることが見込まれます。また、建設業では同期間中に死亡災害が毎年発生していることなどもあり、非常に憂慮すべき事態にあります。

○川崎北労働基準監督署における第12次労働災害防止推進計画期間の労働災害発生状況

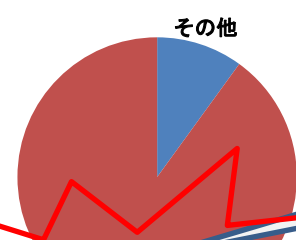
	平成24年 12次防基準値	平成25年	平成26年	平成27年	平成29年 12次防目標値
建設業	77	94 (1)	101 (4)	76 (2)	65 (0)
全産業	484 (2)	479 (2)	477 (8)	474 (3)	411 (0)

( ) 内数値は死者数

## そこで👉「安全の見える化」運動!!

- ◎あなたの職場の安全対策は適切に管理されていますか？
- ◎ヒヤリハット・危険予知・リスクアセスメント・安全ミーティングなどで挙げられた安全対策の結果が書類だけになっていませんか？
- ◎現場に安全対策（設備）が設けられていますか？見えていますか？

建設業における労働災害の原因



9割が不安全行動・  
不安全状態!!

建設業における労働災害の原因のうち約9割が、「人の不安全行動」「物の不安全状態」によるものであると分析されています。



『安全の見える化』を積極的に推進しよう!!

## 👉 「見える」安全活動のすすめ

職場に潜む危険などは、視覚的に捉えられないものが数多くあります。それらを可視化（見える化）することで、より効果的な安全活動を行うことができます。これを「見える」安全活動と言います。

「見える化」は、危険認識や作業上の注意喚起を分かりやすく知らせることができ、また、一般の労働者も参加しやすいなど、安全確保のための有効なツールです。

職場の危険を「見える化」し、安全確保に努めましょう！

### 👉 危険・有害性の「見える化」

危険有害性のある場所、機械、作業について、語句、図柄、写真などで注意喚起することや色、光、音などで注意喚起すること等により、その場所への接近やその機械の使用、作業の実施に当たっての安全対策の徹底を図ること。



範囲内が開口部であることを  
黄色のネットで注意喚起  
○色による注意喚起



水平ネットで開口部を養生している。  
開口部端から垂らした黄色の鎖で  
開口部の真下の範囲を示し注意喚起している  
○飛来落下災害防止の注意喚起



黄色のネットと安全通路の表示で、安全通路を確保、  
明示している。単管は墜落転落防止の役割を果たしている  
○安全通路の明示による注意喚起



安全帯のフックに蛍光マーカーを貼付し、安全帯を着用・  
使用していることについて、職長や他の作業員から見て  
分かるようにしている  
○色と語句による安全帯使用の注意喚起



仮囲いのコーナー部分をアクリル板にして可視化し、  
 通行者の出会い頭の衝突を防止している。

○現場敷地外側コーナーの死角の注意喚起



熱中症予防のため、作業当日の一定時刻ごとに  
 WBGT値(暑さ指数)を掲示している

○数値の掲示による注意喚起

## 安全ルールの「見える化」

現場内で適用されるルール、一人KY時の確認ポイント・確認内容等について、語句、図柄、写真で注意喚起することや光、音などで注意喚起すること。また、労働者の遵守事項を表示し、安全衛生対策の徹底を図ること。



職長、作業主任者、玉掛、合図者、誘導員が、一目でわかるように、ヘルメットにバンドをかけて色分けしている

○色による注意喚起



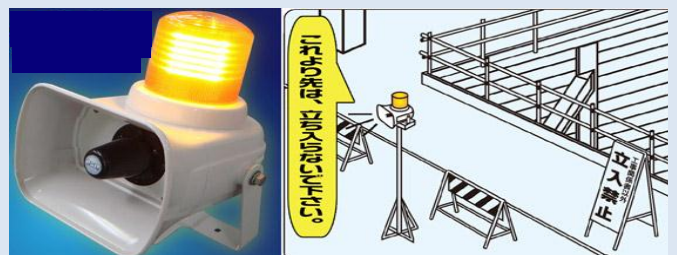
職長、作業主任者、玉掛、合図者、誘導員が、一目でわかるように、ベストとベストのラインで色分けしている

○色による注意喚起



丸のこの使用方法として現場内に労働者が遵守すべき事項を  
 掲示し、作業者の安全意識を喚起している

○掲示による注意喚起



立入禁止の手前に入るとセンサーが人を感知し、音声の流れるとともに、黄色のパトライトが光ることで注意を促す。

○音声、光による注意喚起  
 (見える化と聞こえる化を同時に行う事例)

## 建設業労働災害防止協会の統一安全標識のご案内

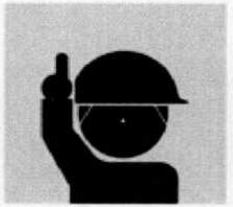
建災防統一標識は、昭和58年に建設現場で使用する基本的な安全標識を統一し、その普及により建設現場における労働災害防止に資することを目的に、業界総意の指針として公表したものです。

※詳しくは、建設業労働災害防止協会の各支部、分会にお問い合わせください。

神奈川支部 TEL 045 (201) 8456

川崎北分会 TEL 044 (871) 7005

頭上注意



(1) 頭上注意

足もと注意



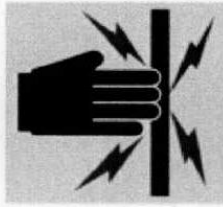
(2) 足もと注意

開口部注意



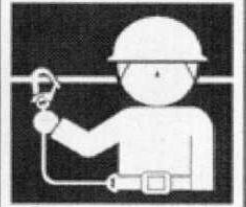
(3) 開口部注意

感電注意



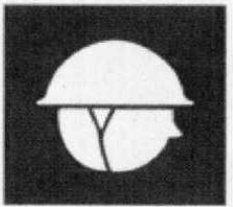
(4) 感電注意

安全帯使用



(5) 安全帯使用

保護帽着用



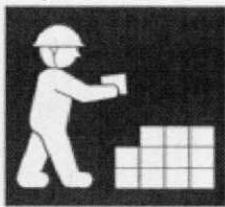
(6) 保護帽着用

立入禁止



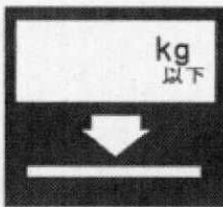
(7) 立入禁止

整理整頓



(8) 整理整頓

積載荷重



(9) 積載荷重

消火器



(10) 消火器

喫煙所



(11) 喫煙所

禁煙



(12) 禁煙

火気厳禁



(13) 火気厳禁

また、建災防の安全衛生図書にある【目で見る安全】シリーズは建設現場の安全衛生対策などの写真に「○×」で評価を加え、改善例、安全のポイントなどがわかりやすくまとめられています。

## あんぜんプロジェクト

あんぜんプロジェクトは、労働災害のない日本を目指して、働く方の安全に一生懸命に取り組み、「働く人」、「企業」、「家族」が元気になる職場を創るプロジェクトです。

働く人を守るあんぜんプロジェクトへのご参加をお待ちしています

厚生労働省では「見える」安全活動コンクールを実施中です。

詳しくは厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp>) を確認ください。